

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
1	1. 高田地区の活性化について
30 番 永 島 義 雄	<p>(1) 上越市の顔である高田地区の活性化について以下の6点について市長の考えを聞きたい。</p> <p>ア 高田公園の名称について、高田城址公園の名称が出ているが、「城址」ではなく、イメージや将来を見据え、「高田城」公園にする考えはないか。また、名称変更の時期を早める考えはないか。</p> <p>イ 旧西城スポーツ広場に、上越地域の物産センターを建設し桜と蓮を見に訪れた観光客へ物産品を販売するなど、市内物産品の販路拡大の構想及び、そのための企画を実施する考えはないか。</p> <p>ウ 高田駅前線路沿いの駐車場用地を、高田市街地のために活かす方法があるのではと考えるが、行政として高田地区の活性化のために活用する考えはないか。</p> <p>エ 旧師団長官舎は、今の場所では観光客から目立たない。高田地区活性化のため、再度移転する考えはないか。</p> <p>オ 上越市は多くの偉人を輩出しているが、それら偉人の銅像や資料は点在している。教育面においても、また、観光面においても、偉人の顕彰専門館としてまとめるべきである。このような施設を高田地区に建設する考えはないか。</p> <p>カ 高田中心部には、町家交流館高田小町、瞽女ミュージアム高田、旧今井染物屋、旧金津憲太郎桶店、旧第四銀行高田支店(現高田まちかど交流館)、高田世界館、といったすばらしい建築物がたくさんある。これらの建築物をもう少し活性化につなげられるような企画、アイデアがあれば聞きたい。また、高田中心部の活性化に係る担当部署を一本化する考えはないか。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
2	
24 番 江 口 修 一	<p>1. 地震に伴う避難指示の課題とその検証について</p> <p>(1) 6月18日に発生した山形県沖地震の地震速報と津波注意報は市民にどのように周知したのか。特に津波注意報に基づく避難指示がどうだったかを聞きたい。</p> <p>(2) 直江津地区や名立区等の海岸線に住んでいる市民の詳細な避難状況を聞きたい。</p> <p>(3) 避難所の対応や開設基準に問題はなかったか。また、問題があるとすれば何だったのか。</p> <p>2. 当市も目指すべき「スマートシティ上越」について</p> <p>(1) 国の示した自治体戦略2040構想にある、AI・RPAの導入はどのように進んでいるか聞きたい。</p> <p>(2) 当市で地域IoT実装推進ロードマップを実践している分野があればお聞きしたい。</p> <p>(3) 人口減少・高齢化対策として特に「標準的なバス情報フォーマット」を整備し、いわゆる「MaaS」として出発地から目的地までの移動を一つのサービスとして提供し、交通手段の検索・予約・決済ができる上越版「新しいモビリティサービス推進事業」を行ってはどうか。</p> <p>3. 上越市創造行政研究所の在り方について</p> <p>(1) 自治体を取り巻く多くの行政課題がある。AI・IoT等の近未来技術を活用し、国が進めるICT成長戦略での対応策を早く提唱し、地方創生に繋げていく事が極めて重要である。それらを担うのが創造行政研究所の責務と思うがどうか。</p> <p>4. ドローンの活用について</p> <p>(1) 広大な面積を持つ当市として、ドローンを活用した空撮を行い、観光振興や産業誘致につながる映像を作成し、ネット配信はできないか。</p> <p>(2) 現在、長寿命化が課題となっている行政の建築物や構造物等の定期点検の際に、点検の難しい橋梁の下部や高層建造物にドローンを活用してはどうか。</p> <p>(3) 災害対策において被害状況等を、ドローンを活用して災害対策本部へリアルタイムで中継できるようなシステムを作れないか。</p>

順位	
議席氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;">3</p> <p style="text-align: center;">7 番 橋 本 洋 一</p>	<p>1. 棚田地域振興法の成立と中山間地域農業対策について</p> <p>(1) 6月に成立した棚田地域振興法では、棚田を貴重な国民的財産と位置づけ、棚田地域の活動支援に向けて財政、税制上の措置を講じるとしている。中山間地域の人口減少や高齢化に歯止めがかからない中、棚田の保全や棚田地域が持つ多面的機能の維持、増進に向けてより実効性のある支援策を推進できるかが問われていると考えるが、当市の中山間地域農業対策に与える影響と今後の取組方針について聞きたい。</p> <p>2. 次期総合公共交通計画について</p> <p>(1) 次期総合公共交通計画の策定に向けて、公共交通利用アンケートや乗降調査等を行い、また、路線バス再編の考え方等に関する地域住民への説明・意見交換会を実施しているとのことだが、その結果はどうであったか。また、運転免許証自主返納後の交通手段の確保を含めた住民の公共交通へのニーズについて、市で把握・認識している内容について聞きたい。</p> <p>3. 障害者などに対する差別解消に向けた取組について</p> <p>(1) 障害者差別解消法が施行されて3年が経過した。これまでの当市の取り組み状況について、その評価と今後の課題について聞きたい。また、法の施行直後に神奈川県相模原市の障害者施設殺傷事件が発生したが、この事件を受けた当市の取組やその後の経過、現在の状況について聞きたい。</p> <p>4. 「うみがたり」の施設利用について</p> <p>(1) 水族博物館「うみがたり」の施設内にて、営業で撮影する場として使用させてもらいたいとの要望があったと聞いているが、5ヶ月が経過した現在も回答がないようである。市から指導や助言は行わないのか。また、市と指定管理者の関係について聞きたい。</p>
順位	
議席氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;">4</p> <p style="text-align: center;">13 番 滝 沢 一 成</p>	<p>1. 上越市の宣言と憲章について</p> <p>(1) 上越市は、いわゆる宣言、憲章を複数定めているが、その基本方針は何か。また、宣言、憲章が、市政に益することは何か。</p> <p>(2) 上越市の9つのそれぞれの宣言、憲章について、以下のことを聞きたい。</p> <p style="margin-left: 20px;">ア そもそも何のために定めたのか。</p> <p style="margin-left: 20px;">イ 市政にどのように反映しているのか。</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ 市民に浸透しているか。</p> <p>(3) いずれの宣言、憲章も何のために保持しているのか。また、制定当初と状況が変化し、時代の変遷の中では見直しが必要となることもあるのではないかと考えられるが、どうか。</p> <p>(4) これから新たに制定する場合、どのような判断・基準で行うのか。また、今現在、制定したい宣言、憲章はあるか。</p>

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
5	
8 番 池 田 尚 江	<p>1. 県営ほ場整備事業の現状と新規採択について</p> <p>(1) 大区画ほ場整備の現状はどうか。また、今後の構想地区を含めた進捗の見通しはどうか聞きたい。</p> <p>(2) 県は、米に代わる園芸作物の2割作付けを新規採択の優先順位の指標としていると聞くが、市は、園芸作物一律でなく地域にあった多様な取組も評価するよう県へ提言すべきでないか。</p> <p>2. 次期道路整備計画について</p> <p>(1) 次期道路整備計画の基本的な考えを聞きたい。また、現在、地域から寄せられている道路等整備の要望に対し、次期道路整備計画ではどの程度要望に応えられる見通しか現段階での考えを聞きたい。</p> <p>3. 地域おこし協力隊について</p> <p>(1) これまでの地域おこし協力隊の活動の成果について、配属された地域でどのような成果が得られ、その成果をどのように評価しているか聞きたい。</p> <p>(2) 「中山間地域のすこやかな暮らしを支える」観点から、今後、地域おこし協力隊員を増員し、より充実すべきと考えるが、市長はどのように考えているか。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
6	
20 番 杉 田 勝 典	<p>1. 合併15年目の総括と今後について</p> <p>(1) 令和2年1月で14市町村が合併して15周年を迎える。15年の歳月の中で見えて来た大きな課題、将来への展望、地方創生に向けての今後の目標をどう捉えているか。</p> <p>(2) 具体的な行財政改革や産業観光振興、公共交通政策など、今後市民と共に乗り越えて行くべき課題や解決策をどのように市民に訴え、理解を求めていくのか。</p> <p>2. 当市における働き方改革の一つとしての「テレワーク」について</p> <p>(1) 働き方改革として、「テレワーク」が一つの形となっている。当市における「テレワーク」を導入している事業者の現状やその効果についてどう捉えているか。</p> <p>(2) 当市の産業構造においては、「テレワーク」には馴染まない仕事内容・勤務形態が多々あり難しい面はあると思うが、当市における「テレワーク」の今後の展開の可能性をどう分析しているか。</p> <p>3. 当市のスマートシティ化について</p> <p>(1) 当市における観光や雇用など行政その他の分野でのICTの利活用について、今後の可能性をどう見通しているか。</p> <p>(2) 地元出身の学生らの市外流出をストップする観点から、ICT関連分野での就職を目指す学生の雇用創出のため、ICT関連企業の集積を考えてはどうか。</p> <p>4. 消費税増税に伴う当市の影響及びキャッシュレス決済の普及について</p> <p>(1) 消費税が5%から8%に増税した際は、駆け込み需要や反動減が顕著であった。10%に増税する直前の今、当市の消費の駆け込み需要をどう捉え、どう分析しているか。また、政府は反動減対策を行うとしているが、市内における今後の反動減について、現時点でどう見通しているか。</p> <p>(2) 増税に伴う公共料金や診療報酬、施設利用料金等の値上げによる市民生活への影響について、現時点でどのように捉えているか。</p> <p>(3) 増税に伴うキャッシュレス決済によるポイント還元制度が始まる中、中小企業にとってキャッシュレス決済には様々な壁があると言われている。キャッシュレス決済普及の現状と課題、今後の導入の見通しについてどう捉えているか。</p>

令和元年第3回(9月)上越市議会定例会 一般質問 通告書一覧表

順位	
議席氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;">7</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">10番 石田裕一</p>	<p>1. 不登校児童生徒の現状と居場所づくりについて</p> <p>(1) 市立の小中学校における不登校の現状とその解消に向け、どのような支援を行っているのか。</p> <p>(2) 「やすづか学園」が不登校の児童・生徒の居場所づくりに取り組んでいる活動を市はどのように評価しているか。また、社会復帰に向け、この活動を大いに活用することが重要であると思うが、市の考えを聞きたい。</p> <p>2. 「地域支え合い事業」について</p> <p>(1) 現在、地域自治区ごとに「地域支え合い事業」が行われている。当市における「地域支え合い事業」の基本的な目的や方向性、ビジョンについて、28 自治区における現状も踏まえた上、改めて聞きたい。</p> <p>(2) 「地域支え合い事業」では、各地域自治区に「すこやかサロン」を設けられ、そこに配置されている第2層の「生活支援コーディネーター」の役割が重要となっている。この生活支援コーディネーターを、どう支援、育成しているか聞きたい。また、この事業を総括していた第1層の「生活支援コーディネーター」の現在の役割について聞きたい。</p>
順位	
議席氏名	質 問 事 項
<p style="text-align: center;">8</p> <p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">28番 近藤彰治</p>	<p>1. 金谷地区における諸課題について</p> <p>(1) 南葉高原キャンプ場の将来像について、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 平成30年12月19日に落雷により焼失した南葉山荘跡地利用について考えを聞きたい。</p> <p>イ 南葉山荘焼失により、南葉高原キャンプ場の運営計画が大幅に変更されると考えられる。南葉ロッジを含めた将来的な計画を聞きたい。</p> <p>(2) 改築を含めた金谷地区公民館の今後について以前も質問したが、一向に進展がない。現在、新設か改築かなどを含め、具体的にどのように検討しているか聞きたい。また、これまで進展がなかった理由についても聞きたい。</p> <p>(3) 平成26年10月15日に全線開通した山麓線について、黒田交差点から乙吉交差点間の約4kmがいまだに2車線である。上越妙高駅開業により、交通量は増加傾向にあり、交通事故防止の観点からも早急に4車線化とすべきという山麓線促進期成同盟会からの要望がある。市としての山麓線4車線化に向けた取組の現状について聞きたい。</p> <p>2. 行政機関の庁舎の敷地内全面禁煙について</p> <p>(1) 6月1日から行政機関の庁舎の敷地内全面禁煙となったが、市民及び職員からどのような声や反応があったか。また、このことについてアンケート等の聞き取りは行っているのか。</p> <p>(2) 今まで喫煙者であった職員の禁煙による精神状態の変化についてどのように把握し、健康管理や指導を行っているのか。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
9	<p>1. 市長の政治姿勢、方針について</p> <p>(1) 市政運営上、「政治的視点」、「事務的視点」のどちらに重きを置き、政策・施策に反映しているのか聞きたい。</p> <p>(2) 市長が思い描く「政治家に求められているもの」や「リーダー像」とはどのようなものか。また、「血の通った政治」についてどのように考え、市政に反映しているのか聞きたい。</p> <p>(3) 行財政改革では、当県又は他市において身を切る努力をしている。当市においても財政が厳しいことから、事務事業の見直し等で市民に我慢を強いられている現状であるが、今後、どのような改革を予定しているのか聞きたい。</p> <p>(4) 当市の10年後、20年後に向けて、特にどの分野に重点を置こうとしているのか。また、それを踏まえて、どのような政策・施策を考えているのかについて、その構想や未来像について聞きたい。</p>
3 番 丸 山 章	<p>2. 定住へと誘導させるための奨学金制度の見直しについて</p> <p>(1) 高等教育修了者が当市へ居住した場合、居住者の通算居住年数によって、奨学金返還分を再度本人に返還し、定住を促進させる制度が必要と考えるがどうか。また、その際の返還比率を10年経過で3割、20年経過で5割、30年経過で全額免除としてはどうか。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
10	
2 番 牧 田 正 樹	<p>1. 学校給食における食物アレルギーの対応について</p> <p>(1) 市内の小中学校における食物アレルギーに対応した給食が必要な児童、生徒の人数及び近年の事故の発生状況はどうか。</p> <p>(2) 当市における食物アレルギーの対応について、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 食物アレルギーに対する事故の発生事案の公表基準及び市内学校間の情報共有はどうなっているか。また、教職員の研修状況についても聞きたい。</p> <p>イ 対応マニュアルはあるか。また、あるのであれば、その活用方法を聞きたい。</p> <p>ウ 食物アレルギーについて、保護者とはどのように意思疎通を図っているか。</p> <p>エ 食物アレルギーの要因となりうる食材を含んでいる献立の取扱いについて聞きたい。</p> <p>オ 給食に使用する食器等は工夫されているか。</p> <p>カ 栄養教諭等、養護教諭、調理員の連携状況について聞きたい。</p> <p>2. 広島平和記念式典への中学生派遣事業について</p> <p>(1) これまでの実施内容からの変更点とその理由を改めて確認したい。その上で、先月の派遣を踏まえ、変更に伴う影響をどう考えているか聞きたい。</p> <p>(2) 派遣人数が今年度から3分の1となった。「非核平和友好都市宣言」を行っている本市として、この事業は縮小すべきではないと考えるが、考えは変わらないのか。</p> <p>3. 町内会事務委託料の見直しについて</p> <p>(1) 事務事業評価で町内会事務委託料の見直しをする理由について、改めて確認したい。その上で、見直し後に各町内の委託料は、どの程度の増減となるのか。また、全体の削減額はいくらになるか聞きたい。</p> <p>(2) 今回の見直しによって世帯数の多い町内は委託料が大幅に減額となる。町内会運営に支障が生じないか。</p> <p>4. 元号の使用について</p> <p>(1) 市の公文書及び市民や事業者などからの申請書等における元号の使用基準はどのようになっているのか。</p> <p>(2) 元号が平成から令和になった際、公文書における元号の取扱いについて国から通知があったのか。</p>

順位		
議席氏名	質 問 事 項	
11		
6 番 本 山 正 人	<p>1. 雪だるま高原エリアの「施設効率化に向けた機能再編」について</p> <p>(1) 雪だるま高原エリアには、「センターハウス」、「雪の湯」、「久比岐野」の3つの施設があり、いずれも整備されてから相当な年数が経過している。今回、施設整備に当たり、設備機器の老朽化や源泉湯量の減少、人手不足、利用者数の減少が挙げられている。「雪の湯」に代わる施設として「久比岐野」を改修し、温浴機能を移す計画を示しているが、温浴以外の「雪の湯」が持つ機能が保たれ、利用者に満足いただける施設としてリニューアルされるのか。また、このリニューアルを行うことにより、収支の改善が見込まれるのか。さらに、施設の長寿命化も考慮しての考えなのか聞きたい。</p> <p>(2) 温浴機能移転後の「雪の湯」の施設について有効活用を図る考えはないか聞きたい。</p> <p>2. 担い手不足について</p> <p>(1) 人口減少や少子高齢化が加速する中、地域コミュニティにおいては担い手不足が著しく顕著である。そのことは町内会を始め各団体についても同様で、様々な事業の継承が困難になりつつあり、そこで地域を超えた連携強化が必要と考える。例えば、「集落づくり推進員」や「地域おこし協力隊」を含めた市が仲介役となり、地域出身者のつながりを活用し、協力してもらうなど、事業として取り組む考えはあるか聞きたい。</p>	
順位		
議席氏名	質 問 事 項	
12		
14 番 波 多 野 一 夫	<p>1. 保倉川放水路整備について</p> <p>(1) 保倉川放水路整備に向けた現地調査が行われている。地元住民の関心事は新たに提示されるルート案とスケジュールである。それらの今後の見通しについて聞きたい。</p> <p>(2) 放水路整備と併せ、地域のまちづくり構想の提示が必要不可欠と考える。具体的な整備内容を示すのは難しいと思うが、事業主体等、どのような形で進められていくことが考えられるか。</p> <p>2. 地籍調査について</p> <p>(1) 地籍調査は、税の公平性や多様な災害復旧に備える意味において、大変重要な事業と考える。事業実施に向けた、国や県の意向はどのような状況か。また、当市の事業実施に向けた考えについて聞きたい。</p>	

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
13	
29 番 内 山 米 六	<p>1. 健全財政の堅持について</p> <p>(1) 人口減少と少子高齢化による行財政への影響が懸念されており、人口構成の変化、とりわけ生産年齢人口の減少による市税の減少や高齢化等の要因による歳出の増加といった非常に厳しい状態である。この状態は、第2次財政計画改定版における最終年度以降、さらに厳しさを増す。持続可能な健全財政を確保する施策とその見通し、並びにこの状態を踏まえ、非常時に十分耐えられる財政調整基金残高の水準についてどう考えているか、改めて聞きたい。</p> <p>2. 下水道事業について</p> <p>(1) 当市では、令和2年4月からの地方公営企業法の財務規定の適用に向け、平成30年度では移行事務調整及び資産調査をしたとしている。予定どおり移行は可能なのか、また、移行の際に見直しを検討するとしている使用料はどうか聞きたい。さらに、これらを市民に説明する時期はいつになるのか聞きたい。</p> <p>(2) 今後さらに人口減少と少子高齢化が深刻になることにより、下水道事業が困難な状況になると推察される。民間活力の活用について、積極的に取り組む考えはないか聞きたい。</p> <p>3. 廃校となった小学校舎を利活用しての生産年齢人口増加策について</p> <p>(1) 今年4月に改正された出入国管理法により、外国人労働者の増加が見込まれる。これを契機に、生産年齢人口の増加策として外国人から定住してもらえよう、近隣諸国と友好を図り、当市や日本語・日本文化を世界に発信するなどの国際貢献をするため、廃校となった小学校舎に、上越市立日本語学校設立を検討すべきと考えるが見解を聞きたい。</p> <p>(2) 当市は、多様な自然に恵まれ、豊富で新鮮な山海の食材や米を始め雪下・雪室野菜、加えて発酵食品など優良な食物産地である。また、百年料亭や割烹など数多くの食事処がある地域にも関わらず、その調理法を習得・学習するには、市外の専門学校に頼っているのが現状である。若者の定住促進につなげるためにも、交通の要衝でもある当市で前述の日本語学校と同じ校舎内に「調理師専門学校」を誘致・設立し、当市だけでなく、県外や近隣市からも生徒を募り、世界の調理法や食育の伝道師を育てる検討をすべきと考えるが見解を聞きたい。</p>

順位		
議席氏名	質 問 事 項	
14		
5 番 山 田 忠 晴	<p>1. 「ふるさと上越応援寄附金」について</p> <p>(1) 当市におけるふるさと納税である「ふるさと上越応援寄附金」について、過去の寄附金の実績と寄附項目の傾向を聞きたい。</p> <p>(2) 寄附金の使い道である「市長にお任せ」の内容について、具体的に聞きたい。</p> <p>(3) 寄附者に対する返礼品について、過去の送付実績と今年度の送付状況をお聞きしたい。また、返礼品に対する今後の考えについて聞きたい。</p> <p>(4) 「ふるさと上越応援寄附金」を市外にどの様にPRしているか。また、PRによる効果をどう分析しているか。あわせて、今後の「ふるさと上越応援寄附金」の考え方を聞きたい。</p> <p>2. 市道の路面標示の修繕について</p> <p>(1) 市道における車道外側線やセンターライン、交差点の直進や右左折の路面標示等の修繕や引き直しは、どの様な基準と計画で行われているのか聞きたい。</p> <p>(2) 路面標示が除雪等で消えやすい場所は、道路標識を整備し、通年で分かりやすくする考えはないか。</p>	
順位		
議席氏名	質 問 事 項	
15		
21 番 栗 田 英 明	<p>1. 地域協議会について</p> <p>(1) 地域のことは、地域で考え、地域で決め、地域で責任をもって実施していくことを前提に地域協議会があるとするならば、市長の附属機関という位置付けを見直すべきではないか。</p> <p>(2) 現在の公募公選制による委員の選出方法では、住民自らが主体となった課題解決のための活動を遂行できないのではないか。</p> <p>(3) 年度ごとのスケジュール管理では、委員の研修、課題の共有化、解決策の決定に十分な時間がとれないのではないか。差し当たって、改選後、新しい地域協議会で委員間での話し合いの機会を設ける予定はあるのか。</p> <p>(4) 地域活動支援事業のそもそもの目的を確認したい。その上で、市として現状をどう評価しているか聞きたい。</p>	

令和元年第3回(9月)上越市議会定例会 一般質問 通告書一覧表

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
16	<p>1. 農業政策について</p> <p>(1) 農業者の高齢化や後継者の減少が急速に進む中、農業法人を含む担い手の確保についての現状と課題について聞きたい。</p> <p>(2) 中山間地域における農地の荒廃化の防止に向けての対策はどのように進めているか聞きたい。</p>
15 番 橋 本 正 幸	
順位	質 問 事 項
議席 氏名	
17	<p>1. 児童の放課後の居場所づくりについて</p> <p>(1) 放課後児童クラブ利用者の増加傾向について、どのように捉えているか。</p> <p>(2) 利用者の増加に対し、放課後児童クラブ支援員の人材確保や運営上の課題について確認したい。</p> <p>(3) 放課後子ども教室等、放課後児童クラブ以外の子どもの居場所について、どう考えるか。</p> <p>2. 医療用ウィッグへの助成について</p> <p>(1) 医療用ウィッグは、最近多く使われるようになってきている。その代表的な使用例として、抗がん剤治療の副作用による脱毛対策が挙げられる。医療用ウィッグは、医療費控除の対象として認められていない中、自治体で助成制度を設ける事例が何件かある。当市においても助成制度を検討する考えはないか。</p>
9 番 田 中 聡	

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
18	<p>1. 観光戦略と公共交通体系について</p>
4 番 宮 川 大 樹	<p>(1) 新潟県は、本年10月から12月の間に開催されるJRの新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーンにおいて、各市・エリアの観光情報を提供し、観光誘客を図ることで広域観光を展開するとしている。上越市でも、平成25年から北陸新幹線上越妙高駅を玄関とする五市でPRプロジェクト「ようこそ。越五の国へ。」を展開し、広域観光連携を実施していた。このような中、本年2月から新潟県と佐渡金銀山世界遺産登録推進県民会議が連携して署名活動を展開し、来年の世界遺産認定に向け、好感触を得ているとしている。佐渡金銀山が世界遺産として認定されれば、関西圏から佐渡市への誘客が見込まれ、その玄関口となる佐渡汽船直江津港は当市に所在している。観光の新しい中核を担う水族博物館うみがたりも開館し、このチャンスを逸する事なく観光誘客につなげるべきと考える。上記を踏まえ、以下の点を聞きたい。</p> <p>ア 新潟県・庄内エリアデスティネーションキャンペーンの開催を受け、上越市としてこのキャンペーンを活かした観光戦略にどう取り組むか。</p> <p>イ 先日開催された「第1回上越市観光地域づくりワークショップ」は、どのような効果を狙っているのか。</p> <p>ウ 「ようこそ。越五の国へ。」の取組もあつたが、現時点における佐渡市との連携状況と今後の展開についてどのように考えているか。</p> <p>エ 当市は、世界遺産登録に向けた交流宣言に署名をしている。現在の県民会議の活動状況及び当市における署名数の進捗状況はどうなっているのか。</p> <p>オ 佐渡金銀山の世界遺産認定を見据え、上越妙高駅から直江津港に向かう交通の利便性向上に向けた取組の状況と今後の展望はどうか。また、佐渡金銀山の世界遺産認定を契機に、上越妙高駅での乗降人員数を増やし、かがやきの停車機会実現のチャンスと捉えていく必要があると考える。当市としてどのように取り組んでいくのか。</p> <p>カ 新潟県は、北陸新幹線と上越新幹線の直通運転化につながる、いわゆる中速新幹線構想を含めたあらゆる可能性について検討を進めているとのことだが、この動きについて市の所見を聞きたい。</p> <p>キ えちごトキめき鉄道株式会社は来年4月の運賃の値上げを公表するとともに、経営体制も変わった。このことによる当市の観光への影響について聞きたい。</p> <p>ク 水族博物館うみがたりが開業して2年目に入った。入館者数を維持するための新たな方策をどのように考えていくのか。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
19	<p>1. 支援が必要な高齢者への対応について</p>
12 番 小 林 和 孝	<p>(1) 「第7期介護保険事業計画」は2年目を迎えている。計画策定に当たり、特別養護老人ホームの申込者 733 人を対象として状況調査を行い、入所について緊急性が高いと判断される、要介護3以上の自宅で待機している独居又は高齢者世帯の申込者は134人であり、この調査後、特別養護老人ホーム等で106床を整備したことから、平成30年度以降は28床の施設整備が必要となるとし、第6期介護保険事業計画策定時に登載できなかったショートステイからの26床の転換を行うとした。この調査から2年が経過したが、現在の施設の入所状況や待機の状況を聞きたい。</p> <p>(2) 独居は様々な境遇によると推察されるが、認知機能の低下が懸念される高齢者の財産管理についてどのような支援ができるか聞きたい。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
20	<p>1. 10月1日に迫った消費税10%への増税への対応について</p>
27 番 上 野 公 悦	<p>(1) 消費税10%増税が間近に迫った。安倍首相は、「消費税増税はやめよ」という国民の声を全く聞こうとはしない。今からでも消費税増税は中止すべきと考える。以下の点について聞きたい。</p> <p>ア 現在、企業を取り巻く状況は深刻と考えるが、市内の状況はどうか。</p> <p>イ 市内事業者は、「軽減税率」導入による複数税率対応のためのレジスターの更新や、クレジットカード・電子決済などの「キャッシュレス決済」及びポイント還元等への対応に苦慮している。市内事業者の対応状況はどうか。また、事業者の声をどう捉えているか。</p> <p>ウ 市長は、市民の暮らしや市内事業者の生業及び市内経済を守る立場にある。消費税増税は中止するよう直ちに国に申し入れるべきと思うがどうか。</p> <p>(2) プレミアム付き商品券事業は、「消費税10%の引き上げにより、低所得者や子育て世帯の消費に与える影響を緩和するとともに、引き上げ前後における消費の波を平準化する」目的で実施される。予算は国が消費税増税分を充て、運営は自治体独自で行う仕組みになっており、自治体によって様々な問題点が生じるという指摘もある。以下の点について聞きたい。</p> <p>ア 購入場所や使用できる期間、終了時期はどうなっているか。</p> <p>イ 対象者はどうなるか。制度設計上どうしても不公平が生じると考えるが、市単独での救済措置を考えられないか。</p> <p>ウ 事業実施のための準備等の進捗状況はどうか。周知は十分か。</p> <p>2. 交通弱者対策について</p> <p>(1) 近年、高齢者の悲惨な運転事故が多発し、それに伴って運転免許証の自主返納が増えており、運転免許証返納後の交通権や移動権をどう確保し、整備するかが大きな課題となっている。現在、デマンドバスや交通体系全体の整備も含めて総合的な検討が進められているが、交通権や移動権の保障など、交通弱者対策について、地域との議論はどうなっているのか。あわせて、次期総合公共交通計画の進捗状況について聞きたい。</p> <p>(2) 移動手段を持たない高齢者や子育て世代に対して、電動アシスト付き自転車購入費補助制度を設けてはどうか。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
21	
31 番 橋 爪 法 一	<p>1. 加齢性難聴への支援と「聞こえのバリアフリー」について</p> <p>(1) 65歳以上の2人に1人が難聴と言われている。難聴者も普通に暮らせることが重要だが、高齢社会における「聞こえのバリアフリー」の重要性についての認識を聞きたい。</p> <p>(2) 補聴器は難聴が進んでからではなく、なるべく早い段階からの使用が大切と言われている。聴力低下の早い段階から補聴器を使用することの重要性についてどう認識しているか。</p> <p>(3) 市は補聴器使用を推進するため、具体的にどのような支援をしていく考えか聞きたい。</p> <p>2. 「核のごみ」の地層処分について</p> <p>(1) 資源エネルギー庁は2017年に「科学的特性マップ」を公表した。「好ましい地域」とそうでない地域の区分及び、活断層や火山との関係等で疑問や批判の声は少なくないと思うが、「科学的特性マップ」に関する市としての認識を聞きたい。</p> <p>(2) すでに「核のごみ」はガラス固化体にして2万5000本たまっているという。今後、「核のごみ」処分方法については社会的な合意が必要であり、いわゆる「原子カムラ」から独立した公正中立な第三者機関による総合的な検討をすべきと思うが、市の見解を聞きたい。</p> <p>3. 地域スポーツ活動の推進について</p> <p>(1) 市内スポーツ施設におけるナイター設備の見直しが始まっていると聞いているが、それらの現状と今後の取組について聞きたい。</p>

順位	
議席 氏名	質 問 事 項
22	
18 番 渡 邊 隆	<p>1. 上越市雨水管理総合計画について</p> <p>(1) 計画において、浸水被害が発生した箇所の評価を行い、整備の優先度を定めた。この中で「短期整備地区」と定め、平成31年度当初予算で計画されている本城町(高田区内)の動きが見えないので、現在の事業進捗を聞きたい。また、この排水路整備に合わせて、現在3台中2台しか設置されていない水戸の川排水機場のポンプを3台にするよう要望すべきではないか。</p> <p>2. えちごトキめき鉄道の新駅設置について</p> <p>(1) 北陸新幹線の開通に伴い、並行在来線として第三セクターの鉄道「えちごトキめき鉄道」が誕生し、マイレール意識の醸成やパークアンドライドなど利用促進に向け取り組んできたが、運賃の値上げを余儀なくされた。収入を増やすための日常の利用増加策として、例えば、上越教育大学の寮の老朽化を見据え、高田・直江津のまちなかの空き家を、官民で協力して提供するなどで、さらに「大学前」に新駅を設置し、学生が移動手段として鉄道を利用することに期待が大きいと考えるがどうか。</p> <p>3. 高田公園に係ることについて</p> <p>(1) 高田城址の敷地には民家や官舎、学校が存在する。例えば、市民の関心が高い本丸跡地にある学校は、耐震化を施しているが、いずれ建て替え時期が来た際には移転し、本丸跡地を開放してはどうか。市としてこのような長期的な時期を見据え、どの組織が、どの時期に、どのような働きかけをして行くのか考えを聞きたい。</p> <p>(2) 高田観桜会では関川河川敷が臨時駐車場となることから、県道高田停車場線の歩道に沢山の花見客が行き交い、また、上越インターからの観光バスの往来も多い。賑わい創出と風情を楽しんで頂くために、中央橋の左詰めまで「ぼんぼり」を延長する考えはないか。また、コンベンション協会に提案しても、「良いことだが、費用を捻出できない」とのことである。市が進めることで実現できないか。</p> <p>(3) 高田公園を高田城址公園とする名称変更については、市長の考え方を再三聞いているが、市民の判断に委ねる事案ではないと考える。高田公園に関わるイベントなどでは、「高田城」という言葉を使用することが多いことから、「高田城址公園」と改称すべきでないか。</p> <p>4. 養育費の支払義務や養育費を求める権利の周知について</p> <p>(1) 全国的に様々な事由で離婚となった後、当事者間で約束された養育費の不払いなどで生活に支障をきたしている事例が多いと聞く。こうした事例の当市の現状について聞きたい。また、養育費の支払義務や養育費を求める権利について、女性相談窓口へ離婚の相談に来た方や市民課での離婚手続きをする方に対してより丁寧に周知すべきではないか。</p>

令和元年第3回(9月)上越市議会定例会 一般質問 通告書一覧表

順位	質 問 事 項
議席 氏名	
23	1. イノシシ対策について
1 番 小 竹 俊 之	(1) これまでも電気柵の設置などイノシシ対策に力を入れてきたと思うが、農作物への被害だけでなく人への被害も懸念される。今後の対策をどのように考えているか。